

平成 28 年 2 月 2 日
在アンゴラ日本国大使館
医務官 麻生有二

【医療情報】ジカ熱 第 2 報

在留邦人の皆様、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。ジカ熱（第 2 報）につきまして以下のとおりお知らせ致します。

2 月 1 日、WHO (<http://www.who.int/en/>) は中南米地域におけるジカ熱の流行に関して、“国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態”（PHEIC）を宣言しました。

CDC

<http://www.cdc.gov/zika/geo/index.html>



ジカ熱発生地域

現在のところ、アンゴラでの発生は確認されていません。

問題点

根本的な治療法はない。

8 割の人は無症状か軽い、しかしながら**妊婦が感染すると奇形児の発生**が懸念される。

予防

蚊に刺されないこと（曖昧です）。

感染地域への渡航を、特に妊婦、妊娠の可能性のある方は極力避ける。

詳細については

【厚生労働省 ジカ熱 Q & A】

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109899.html>

TOPIC: ジカ熱 - 国際感染症対策室 ホームページ